



御嶽山神社 禰宜
佐藤 雅宮
SATOU MASAMIYA

1990年 柏崎市出身 ねぎ
2013年 御嶽山神社禰宜として神職に就く

社家の長男として生まれ、4代目宮司の下で禰宜として神職に就く、佐藤雅宮さん。大学卒業後、佐藤さんは実家の御嶽山神社に入り、父母と共に兼務神社である、八坂神社、番神諏訪神社、松波諏訪神社、大久保諏訪神社、桜木町稻荷神社、新花町金毘羅宮、7社の禰宜として祭事を支えている。

御嶽山神社の基は、長野県と岐阜県に跨る、霊峰御嶽山を信仰の根本道場とする御嶽教という明治天皇に認められた神道の宗派の一つ。現在は伊勢神宮を本宗とする神社も兼務していることから神社本庁に属している。

兼務神社の一つ、市内西本町の八坂神社は京都の八坂神社が総本社。毎年7月に行われる祇園祭は7日から27日までの間、神事が行われる。

佐藤さんは柏崎に戻った最初の年、父と共に神事を執り行いながら、氏子総代や元々地元でもあった若手の人たちの中に入り話をするうちに、八坂神社でみこしを見る人たちが増えたらいいと考えるようになった。また、様々な文化を担保しつつ神社の祭りを残していきたいという気持ちは強くなった。

そこで手始めに、と購入したのがポン菓子機。これが様々な活動の転機になった。

翌年、氏子の若手、櫻井恒太郎さんらと共に始めたのが「祇園炭火網焼き大会」。海の大花火大会の起源である八坂神社の「祇園祭 奉納煙火」に合わせ、この地域から柏崎を盛り立てたいと開催したイベントは大好評だった。イベント3年目となるはずだった去年はコロナ禍で花火が中止になり、イベントも断念。それならばと企業や個人から寄付を募り、八坂神社が毎年打ち上げている7月12日に合わせて花火を打ち上げた。祇園花火の由来は疫病退散。地域の思いが集まり当時の奉納煙火のかたちを再現できたことは有難くしっくりくるものがあった。花火師たちへの応援という意味も込めた。

このことをきっかけに今年5月、八坂神社を拠点とした祇園祭の発信、境内の活用を企画・運営する「八坂祇園會」を立ち上げ、クラウドファンディングを活用しながら今年の花火打ち上げのための協賛を募っている。

さて、佐藤さんがポン菓子機をきっかけに立ち上げたものがもう一つ、それが「〇〇縁日実行委員会」。ポン菓子、かき氷、紙芝居、ダーツ、占いなど縁日の出展を行う団体である。

神主としての心得や作法、歴史にも触れ、研鑽の日々を過ごす佐藤さん。一方で、地域文化の存続と地域や柏崎の盛り上がりにつながるような活動を常に考え、前へと進んでいる。



お問い合わせ

御嶽山神社

柏崎市大久保1丁目13-10
TEL 0257-22-2752

(午前9時～午後4時30分)

*協賛や出店の申し込み

お問い合わせはこちらまで ➡



八坂祇園會



縁日実行委員会